

科目名 & クラス [Course Title, Class]	芸術メディア実習 I_01 (Training in Media Arts I)
授業コード [Course Code]	40099
科目区分 [Course Group]	文芸学部 専門基礎分野
開講年度 & 学期 [Year/Term]	2015年度 前期
授業担当者 [Instructor]	谷田貝 雅典
履修年次 [Grade]	2
単位数 [Credit]	1
授業回数 [Frequency of Class]	15
備考 [Memo]	
副題 [Sub Title]	映像表現
授業概要 [Course Outline]	映像表現は、芸術・娯楽・報道など多様な目的に利用されており、メディアとしては、感覚・行動・思想を共有するための最も強力で容易なものである。本授業の前半では、映像表現が未発達であった時代の古典的な物語の空想法を題材に、映像表現の利点と欠点を考察する。後半では、特徴を理解したうえで映像表現が得意とする情動を喚起(制作にあたっては、操作の複雑なアプリケーションソフトは使わないが、想像力や発想力を必要とする。)
到達目標 [Attainment Target]	アニメーション制作が行える 古典的な物語の空想法を応用し映像表現ができる 実写映像の編集加工が行える 情動を喚起する映像表現ができる 映像表現の利点と欠点を理解する
その他 [Others]	グループワークが中心となるので、各授業の遅刻欠席時には、他のメンバーに事前に連絡するなど注意を払うこと。 グループ内でワイワイと議論や相談をしながら楽しんで制作活動を行っていただきたい
*** 授業計画 Course Schedule ***	
第1回	
授業内容	オリエンテーション(授業の進め方と、グループ分けの協議)
事前学習	子どものころに大好きだった絵本を思い出しておく。
事後学習	各図書館などで、なるべく新しい絵本を探し、読んでおく。
授業方法	
第2回	
授業内容	絵本と電子絵本について(絵本制作の発想の仕組みと、制作グループの発表)
事前学習	会うことのないおかしな組み合わせ(雲とわかめ、月とミミズ)、物理的にありえないことがおこる(タコが空を飛ぶ、太陽が庭で昼寝)、個性的なキャラクター(泳げない魚、足の速い亀)をたくさん想像し、簡筆書きにする。
事後学習	絵本制作の発想法を参考に、制作グループ内で、物語のネタを十分議論する。
授業方法	
第3回	
授業内容	メージハンティング(皇居周辺と国立近代美術館・工芸館・休館や見学時間の関係上、土曜日の補講時間に変更する場合もある)
事前学習	自分の住んでいる地域周辺や、通学経路で、気になる風景を写真におさめる。
事後学習	メージハンティングなどで撮りためた写真を、制作グループ内で共有し、物語を議論する。
授業方法	
第4回	
授業内容	グループ製作「電子絵本」①(ストーリー・キャラクターの検討とラフスケッチ)
事前学習	絵本制作の発想法を参考に、各グループで、おおまかなストーリーを定めておく。
事後学習	制作グループ内で、役割分担を決める。
授業方法	
第5回	
授業内容	グループ製作「電子絵本」②(共立コレクション撮影、作画、効果音制作、アフレコなど)
事前学習	ラフスケッチを元に、素材探しや、材料を集める。
事後学習	素材を加工し、電子絵本の編集を進める。
授業方法	
第6回	
授業内容	グループ製作「電子絵本」③(完成に向けた編集)
事前学習	電子絵本の編集を進める。
事後学習	電子絵本の編集を進める。
授業方法	
第7回	
授業内容	グループ製作「電子絵本」④(最終調整と作品の提出)
事前学習	電子絵本の編集を進め、完成させる。
事後学習	発表会およびWeb配信のための、コメントや制作コンセプトを文章にまとめる。
授業方法	
第8回	
授業内容	作品発表会とWeb配信、および絵本と電子絵本の違いについてディスカッション
事前学習	絵本を、映像化すると、どのような差異があるのか、それぞれのメディアの特性を踏まえて考察しておく。
事後学習	絵本と電子絵本の違いについて考察し、レポートにまとめる。
授業方法	

第9回	
授業内容	動画投稿サイト・ショートムービーコンテストの紹介と、驚倒・感嘆ショートムービー制作について(錯視動画、間違い探し動画、映像クイズ、ドッキリ映像など)
事前学習	インターネット上の動画サイトなどで、びっくりする動画を沢山さがし、URLを記録してお
事後学習	授業で紹介した驚かされた映像を繰り返し視聴し、どこに驚倒・感嘆されたのか箇条書きにまとめる。
授業方法	
第10回	
授業内容	映像表現の系譜(国立近代美術館フィルムセンター:休館や見学時間の関係上、土曜日の補講時間に変更する場合もある。場所は、共立から徒歩で3km(30-40分)、電車では往復320円(14分)である。)
事前学習	グループごとに与えられた見学テーマについて、議論しておく。
事後学習	各グループごとに与えられた見学テーマに沿って、グループ内で議論し、各自レポートにまとめる。
授業方法	
第11回	
授業内容	見学テーマ議論結果の発表と、ロケーションハンティング(学内および周辺地域など)
事前学習	グループごとに見学テーマ議論の内容をまとめ発表準備をする。
事後学習	グループごとに、学内および周辺地域などをロケーションハンティングする。
授業方法	
第12回	
授業内容	グループ製作「ショートムービー」①(撮影・録音)
事前学習	グループ内で、撮影方法や時間などをよく検討する。
事後学習	妥協せず、構想通りのものが撮(録)れるまで、繰り返し作業を続ける。
授業方法	
第13回	
授業内容	グループ製作「ショートムービー」②(編集)
事前学習	編集前の全素材は、必ずグループ全員で確認する。
事後学習	必要に応じ追加撮影・録音をおこなう。
授業方法	
第14回	
授業内容	グループ製作「ショートムービー」③(最終調整、作品提出、コンテストへの応募)
事前学習	妥協せず、必要に応じ最後まで追加撮影・録音を行う。
事後学習	応募する各コンテストの要件に従い、追加編集をする。(たとえば、カラーバーの追加や、指定された作法に従いクレジットを挿入するなど)
授業方法	
第15回	
授業内容	グループ製作「ショートムービー」④(発表会とコンテストへの応募報告)、および授業の発表会およびコンテスト応募時の、コメントを文章にまとめる。
事前学習	
事後学習	今後も、楽しみながら映像作品を制作していただきたい。
授業方法	
評価の基準[Evaluation Standard]	S:100~90点、A:89~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59点以下 X:受験資格無、レポート・課題未提出等
その他の評価基準[Other Standard]	正当な理由なき欠席・遅刻、およびグループワークへの貢献が極端に低い場合は、減点の対象とする。
評価の方法[How to Evaluate]	指定した提出物や完成作品により評価する。
テキスト[Textbook]	随時、提示する。
参考文献[Reference]	随時、提示する。
参考Webサイト[Website for Reference]	
メッセージ[Message from Teacher]	グループワークなどを通じて、将来の夢を語り合える、一生の友に出会うことを